

## クリエイティブ日本語学校 自己点検・自己評価

クリエイティブ日本語学校では、学校設置の趣旨、教育理念・目標に則り日本語教育機関としての向上を図るため、自己点検委員会を設置し、

1. 教育理念・目的等
2. 学校運営
3. 教育活動
4. 学修成果
5. 学生支援
6. 在籍管理と生活指導
7. 学生の募集と受け入れ
8. 財務
9. 法令順守
10. 社会貢献
11. 安全・危機管理

を大項目として次ページ以降の項目について自己点検・自己評価を実施するとともに結果を公開する。

- I 実施時期：5 月
- II 実施ならびに公開責任者：渋谷博子（校長兼教務主任）
- III 自己点検委員会構成：校長、教務主任、専任教員、生活指導担当職員
- IV 実施方法：各小項目について、点検を行い、下記の5段階で評価を行うとともに、大項目について現状、具体的な取り組み、課題、改善計画を記述する。

### 【評価】

- 5：達成している
- 4：ほぼ達成している
- 3：どちらともいえない
- 2：取り組みを検討中
- 1：改善が必要

## 理念・教育目標等

1-1 理念・目的・育成する人材像は明確となっているか	5
1-2 学校の将来構想を抱いているか	5
1-3 理念に基づく教育が行われているか	5
1-4 学校の理念・教育目標が学生、職員に周知されているか	5

### 〈現状・具体的な取り組み/課題〉

教育理念・将来構想は会議などにおいて、折に触れ教職員間で共有している。

## 1 学校運営

### 【評価】

2-1 学校の運営体制は日本語教育機関の告示基準を満たしているか	5
2-2 学校の理念・教育目標に沿った運営方針・事業計画が策定され、教職員に周知されているか	5
2-3 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5
2-4 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	5
2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5
2-6 危機管理体制は整備されているか	5
2-7 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	5

### 〈現状・具体的な取り組み/課題〉

クリエイティブ日本語学校は告示基準を遵守し、2年前に「適正校クラスⅡ」に選定された。運営方針や授業計画は教育理念・将来構想とともに会議等において教職員間で共有している。また、日能研関東グループの一員として、人事制度・危機管理制度・情報管理等はグループの方針を踏まえつつ、日本語学校の現状に合わせ整備を行っている。さらに、労務に関して顧問弁護士、業務委託の行政書士、社労士からの助言を適宜仰いでいる。

## 2 教育活動

### 【評価】

3-1 教育目標に沿ったカリキュラムは体系的に編成されているか	5
---------------------------------	---

3-2 成績評価・進級・修了の判定基準は明確で、適切に運用されているか	5
3-3 教職員の指導力向上のための取組は行われているか	5
3-4 学生からの授業評価を定期的実施しているか	5

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

教務主任などの専任教員が各教員に対して授業見学を行い、フィードバックを行うほか、各クラスの授業の進め方においても細かく適宜指導を行っている。授業に関しては全クラスの授業報告を全教員で共有しお互いに参考にできるようにしている。特に ICT ツールの使用方法は適宜情報交換を行っている。さらに、外部研修への参加を奨励し、非常勤講師も含めた教員に対して参加補助費を支給するなど、学外での自己研鑽も支援している。また、学生からの授業評価を毎学期実施しており、各教員にも結果をフィードバックし、それが生かされているかも授業見学等において確認している。

3 学修成果

4-1 各種日本語能力試験の結果を把握し分析しているか	5
4-2 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか	5
4-3 学生の日本語学習の進捗状況を適切に把握しているか	5
4-4 学生の日本語学習の目的や進路の希望を適切に把握しているか	5

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

各課のテストや授業の様子から学生の日本語進捗状況を把握しているほか、定期的な進路希望調査および日々の教職員からの声掛けにより、希望進路の変更などを把握し、速やかに教職員間で共有を行っている。学生アンケートの結果も満足度が高く、卒業生や在校生からの新規入学者紹介も増えている。

4 学生支援

【評価】

5-1 進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-2 学生相談に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-3 学生の心身の健康管理や安全対策及び生活指導の支援体制が整備されているか	5
5-4 保護者と適切に連携しているか	5

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

定員数116名の小規模な学校であることもあって、一人一人の学生を複数の教職員が見ることができ、常に情報共有した上で進学指導に当たっている。各クラスには専任教員が必ず入り、全クラスを専任教員がカバーし、進学指導を行っている。定期的な学内進学オリエンテーションの実施、外部進学フェアへの参加とともに、複数の専門学校をお招きした進学説明会も年に数回実施している。昨年度に引き続き、卒業生を招いての進学説明会や、職業体験フェスタへの参加、キャリアプランノートの作成などの新たな試みを継続するとともに、今年度から学内における先輩後輩の進路相談会も実施し、より一層の進学指導およびキャリア支援の充実を図った。

英語・ヒンディー語・ロシア語の通訳可能なネパール人・ベトナム人・モンゴル人の職員が在籍し、事務職員も積極的に非常勤講師とも交流を図り、学生の情報を吸い上げるなど、生活指導を教職員一丸となり実施している。

## 6 在籍管理と生活指導

【評価】

6-1 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
6-2 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
6-3 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
6-4 常に最新の学生情報を把握しているか	5

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

新入生に対しては来日直後に2時間程度のオリエンテーションを実施しているほか、長期休暇前は必ず全校オリエンテーションを実施している。また、一度では理解が難しいごみの分別方法などは適宜指導を行っている。さらに、年に数回警察署の方にもお越しいたき、留学生の法令遵守について講和の時間も設けている。

## 7 学生の募集と受け入れ

7-1 学生の受入方針は定められているか	5
7-2 学生の募集活動は適正に行われているか	5
7-3 入学者の募集の際に学校情報は正確に伝えられているか	5

7-4 適正な定員設定及び在籍者数になっているか	5
--------------------------	---

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

信頼関係の確立した仲介機関や、現地及び日本在住の個人から推薦された学生を本校の規定に基づき面接し選考後に入学を許可している。面接の際には日本語力だけでなく、思考力や態度も厳しくチェックしている。特に、在籍期間の短い1年6か月コースに関しては、日本語力の条件を厳しく設定している。学生に対しては、面接の際に再度学校に関する情報を伝えるとともに、質疑応答の時間を必ず設け、疑問点も解消できるよう努めている。今年度は新たにパキスタンの学生が入学し、多国籍化が進んでいる。

8 財務

【評価】

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	5
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
8-3 財務について会計監査は適切に行われているか	5
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	5

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

日本語学校単体としても収益を上げつつあり、設置会社としても前年度と変わらず収益を上げており、財務基盤は安定している。また、毎月外部会計士による会計監査を実施している。

9 法令遵守

【評価】

9-1 法令、設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか	5
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
9-3 自己点検・自己評価の実施と改善、及び、その公開を適切に行っているか	5
9-4 関係省庁への定期報告を遅滞なく行っているか	5

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

法令を遵守し、運営に努めている。関係省庁への定期報告を遅滞なく行い、適切な運営がなされている点から、昨年度に引き続き今年度も「適正校クラスⅡ」として選定されており、安定した運営体制が整っている。

## 10 社会貢献

【評価】

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、を行っているか	5
10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	5

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

毎年、町内会および近隣企業と合同で実施される清掃ボランティア活動へ参加している。また、聖心女子大学現代教養学部日本語日本文化学科や帝京大学外国語学部国際日本学科の学生との交流授業、桐蔭学園中等・高等学校との交流授業を定期的に行っているほか、年1回「かながわベトナムフェスタ」へ、スピーチ代表やボランティアとして有志が参加している。さらに、今年度から日本大学通信教育部からの教育実習生の受け入れも開始し、地域や他教育機関との多角的な連携・社会貢献活動を安定して継続している。

## 11 安全・危機管理

【評価】

11-1 対象となる学生全員が国民健康保険に加入しているか	5
11-2 気象警報発令時の措置、災害発生時の避難方法等を定め、周知しているか	5
11-3 感染症発生時の措置を定めているか	5

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

地震などの災害だけでなく、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の発生時についても措置を策定済みである。また、学生に対しては入国後すぐに結核検診を含めた健康診断を実施し、非常勤講師を含めた教職員全てが年に1回の結核検診を受診している。さらに、非常勤講師も含めた全教職員に対してインフルエンザ予防接種の費用補助を支給するなど、健康管理と学内感染の予防に努めている。

自己点検・自己評価

日本語教育期間名：クリエイティブ日本語学校点検・評価実施日：2026年5月27日

実施責任者（役職）：渋谷博子（校長兼教務主任）連絡先：niongo-info@creative-staff.co.jp